

# 牛久：学校周辺に見る自然

第4号

ひたち野うしく小学校

2010年5月1日発行

## ＜新設校に咲き始めた、樹木の花＞

皆さん、こんにちは。開校したばかりで、まだ雑草もあまり生えてこない校庭にも、植栽された木々たちが次々と花を咲かせています。入学式の頃の桜やツバキに続いて、ドウダンツツジやブルーベリー、ライラックが美しく、ミツバチやハナアブたちもやってくるようになりました。雨の水曜(4/28)には、気がつくともリンゴの花も咲き始めていました。

### ①ブルーベリー（ツツジ科）

### ②ドウダンツツジ（ツツジ科）



左は、遊具の前に並んでいるブルーベリー。小さなつぼ形の花がたくさん下向きに咲いています。この一つ一つがあのおいしい実になります。黄緑色から赤、さらに黒紫色へと変わり熟していきますが、実のお話はまたその頃にしたいと思います。

右は校庭東側フェンス沿いのドウダンツツジ。これもかわいい花がたくさんぶら下がっていますが、実が熟すと上向きにつくようになります。いったいいつ、上下逆転するのでしょうか？ また、花はなぜ下向きに咲き、実はなぜ上向きに熟するのでしょうか？そこには深い意味があります。謎解きをしてみましょう。

### ③ムラサキハシドイ（モクセイ科）



モクセイ科には、香料をとったり観賞用に植えたりと、人間が利用している木が多くあります。この花もよい香りを漂わせていますが、香水の原料にもなるそうで、市内の庭先でもよく見かけます。”ライラック”という呼び名の方が一般的ですね。花の色も品種によっていろいろで、白花のものも2年生の教室前に一緒に咲いていました。

### ④リンゴ（バラ科）



リンゴは青森や長野など北国が主な産地ですが、牛久市内にもおいしいリンゴを栽培しているところがあります。花がきれいなので、観賞用に植えている家もあります。リンゴの場合、同じ品種の花粉がついても、ほとんど実がなりません。そのため、別の決まった品種の花粉をミツバチやマメコバチなどに運んでもらったり、手作業で雌しべにつけなければならないのです。これは大変な作業です。おいしいリンゴができるまでにはたくさんの苦勞があるのですね。最近、このミツバチが急になくなってしまったと心配されています。 【理科支援員・宮内】